

家の中には危険がいっぱい
高齢者はちょっとしたことが事故に

夫婦二人になったら、住み替え検討のタイミング
戸建てからマンションに住み替えてシニアライフを満喫

ICHIMAN TOPICS & 最近のご相談事例



Photo

～今月の写真～

正確な真円が禅における悟りの境地を表しているという雲龍院の「悟りの窓」。春には窓から庭の紅梅などが望めます。窓の前に置かれた椅子に座り庭を眺めていると、禅の悟りを感じられるかもしれません。ちなみに「迷いの窓」は四角で、人生の苦しみを象徴し「生老病死四苦八苦」を表しているそうです。(撮影/西島 昭)

家の中には危険がいっぱい 高齢者はちょっとしたことが事故に

高齢になっても「バリアフリー」段差のない家」なら安全、そう思っていますか？バリアフリーは床の段差だけではありません。高齢者にとっては思いもよらないことが大きな事故につながるようです。

「段差を解消するためのミニスロープや玄関マット、畳のへりなど1cm以下の段差でつまずくことがあります」と話すのはNKメディカルの角田さん。他にも柄物のカーペットは色の濃淡で凸凹して見えたり、照明を背に受け足元が暗くなりよく見えず、危険につながることも。「高齢者は強い光に弱くなります。調光

器で光を調節したり、フットライトなどを利用して、目にやさしく明るい照明にしましょう」。今は眩しさに配慮しつつ明るいLEDライトも販売されています。

その他、補助手すりを設置する場合は壁と馴染まないよう、色の濃度を4段階変えたり、開き戸を引く時には体重が後ろにかかり転ぶことがあるので注意が必要です。濡れている場所も危険です。賃貸でも取付け可能なレンタル手すりもあるとか。家の改修の際はケアマネージャーや地域の福祉課に相談すると、必要な改修や補助金についても教えてもらえますよ。

お話を
伺った方

株式会社 NKメディカル
代表兼さくら訪問看護ステーション瀬田所長
中嶋 恵子さん(左)
NKさくら鍼灸院院長
角田 信夫さん(右)



■株式会社NKメディカル
世田谷区を中心に医療のトータルサービスを目指し、訪問看護、介護タクシー、リハビリテーション、鍼灸治療などで介護する人を助けるサービスを行っている。
問合せ：☎03-6408-7414

訪問ボランティアサービス「キャンパス世田谷用賀」も
地域に住んでいる看護師が、忙しいご家族に代わり看護をお手伝い(有料)。こんな時にご利用ください。
問合せ：☎03-6411-7089 / 080-6587-6220

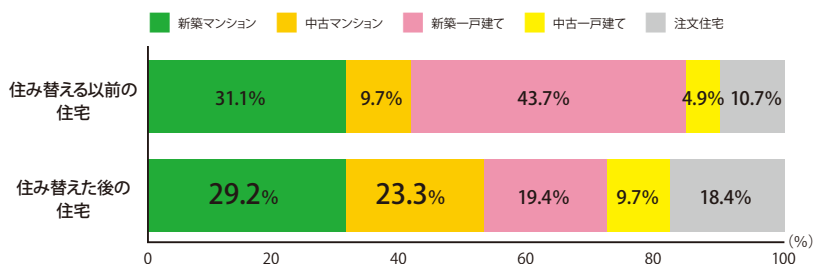
- 通院時の付き添いをして欲しい
- 医師からの病状説明を一緒に聞いて欲しい
- 介護保険を申請したが、認定されなかった
- 車いすでの買い物に付き添って欲しい
- 家族が入院し、医療的ケアができなくなった 等

夫婦二人になったら、住み替え検討のタイミンダ 戸建てからマンションに住み替えてシニアライフを満喫

シニア世代の住み替え事情 住み替え先はマンションが6割

シニア世代で住み替えを考える人が増えているようです。かつては「最終目標は郊外に二戸建て」が常識でしたが、最近ではその傾向は変化しています。便利な都心のマンションでアクティブに暮らす、孫の顔が見られる距離のマンションに住む、のんびり過ごせるリゾート地に移り住むなど、選択肢はさまざまです。

住み替える以前／住み替えた後の住宅は何ですか？



アンケートによると、住み替え先にマンションを選ぶケースが多いことがわかる。住み替え前は約6割だった一戸建て層が住み替え後は5割以下に減少していることから、一戸建てからマンションに住み替えた人が多いと推察できる。

※SUUMO調べ。子どもが独立したため、子どもとは同居していない103名にアンケート。平均年齢63.4歳。持家から新たな住まいに住み替えた人が対象

シニア世代にはマンションが便利 ポイントを押さえた物件選びを

老後の住まいを考える上で注意すべきポイントは、家の維持管理がラクなこと、キッチンやトイレが使いやすいこと、段差がないこと。これら3つは、特に重要なポイントです。マンションはオートロックなどセキュリティに優れ、外出時も鍵一つで施錠可能。バリアフリーのマンションも増えており、シニア世代には住みやすいと言えるでしょう。

マンションを選ぶ際は生活のしやすさはもちろん、相続や老人ホーム入居資金なども考慮し、①駅から徒歩10分以内②病院や高齢者向けの施設や行政サービスが充実している③商業施設が近くにある資産性の高い物件を選ぶとよいでしょう。

住み替えを決めたきっかけ Best5

1位	子どもが独立して夫婦二人になったから	27.2%
2位	家が老朽化したから	24.3%
3位	バリアフリーなど老後の安全性を考えた住まいに移りたかったから	22.3%
4位	もっと生活に便利なおところに住みたかった	17.5%
5位	もっと駅に近いところに住みたかった	15.5%

住み替えずリフォームするなら 専門家にアドバイスをもらおう

もちろん、住み慣れた家に住み続けたい方もいらっしゃるでしょう。その際はリフォームが必要です。リフォームする場合は専門家に相談してみることをおススメします。安易にリフォームすると無駄が多いこともあるからです。今やるべきこと、後からで良いことの見極めが必要で、床の段差をなくしたり、老後を考えたい住みやすい家づくりをしたいものです。また、家で介護を受けるケースも想定しておくとい良いでしょう。

人生100年時代。今後どのような変化があるのか予測できません。終の棲家と決め付けず、まずは10年後、20年後、どう生きていきたいのかを考えて住み替えを検討しましょう。



株式会社市萬
山之内 玲子
インテリアコーディネーター
宅地建物取引士

日本女子大学家政学部住居学科卒。インテリアコーディネーターの資格を活かし、賃貸物件のリフォームなどのプランニングを行う。入居者に選ばれる部屋作りで満室経営に貢献。

最近のご相談事例

相談事例 1

アパート管理を任せている不動産会社に不満があり、変更を考えている。選び方についてアドバイスがほしい。

相談事例 2

築40年のアパートを保有しているが老朽化が進んでいる。修繕するか、建替えるかで悩んでいる。

相談事例 3

将来の相続を考え不動産の共有を解消したい。親族間の不動産売買の注意点・進め方が知りたい。

ICHIMAN TOPICS

■ 9月28日、創業20周年を迎えます



おかげさまで創立20周年
皆様温かいご支援のおかげで20周年を迎えます。心より感謝申し上げます。

■ 2019年8月の入居率……96.05%

これまでの入居率はホームページで確認いただけます。